

経営比較分析表（令和6年度決算）

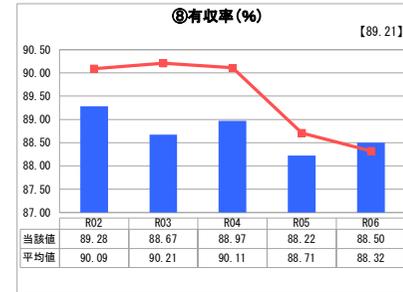
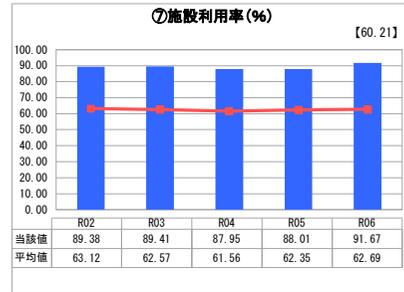
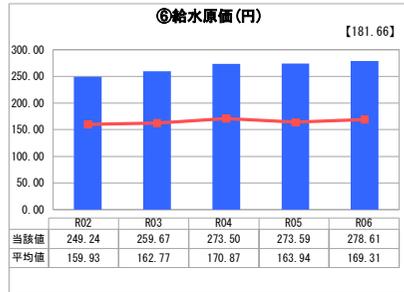
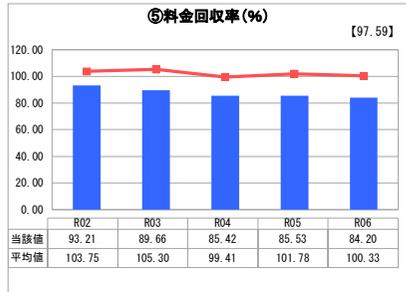
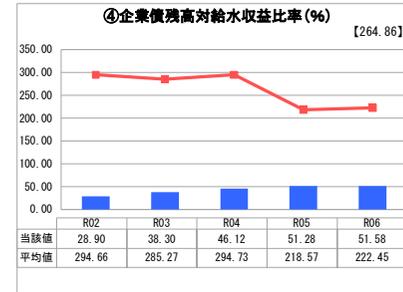
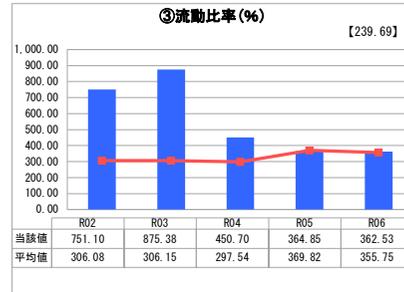
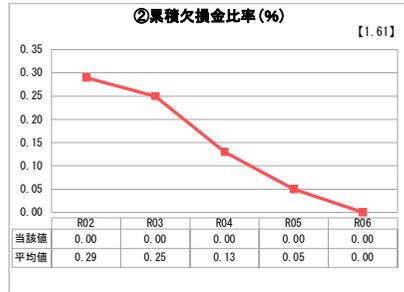
千葉県 山武郡市広域水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	91.37	91.63	4,306	

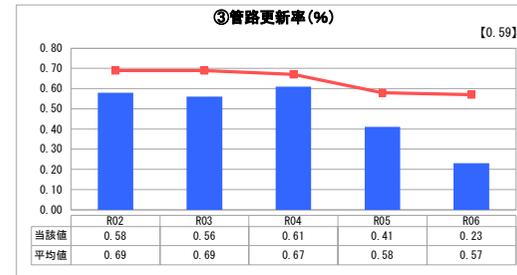
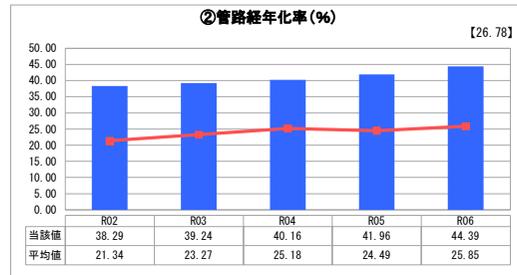
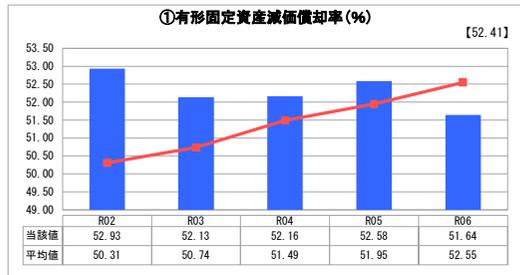
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
-	-	-
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
148,509	299.88	495.23

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回っているものの、全国平均及び類似団体平均を下回っており、年々減少傾向にある。経営の健全性を確保するため、収支改善に向けた方策を検討する必要がある。

② 累積欠損金比率は、0%であり健全な財務状況にある。

③ 流動比率は、全国平均を上回っており、類似団体平均と同水準であることから、短期的な支払能力は良好といえる。

④ 企業債残高対給水収益比率は、全国平均及び類似団体平均を大幅に下回っていることから、企業債の負担は相対的に良好といえる。

⑤ 料金回収率は、全国平均及び類似団体平均を下回っている。主な要因は、構成市町及び千葉県からの高料金対策補助金により、水道料金以外の収入が確保されているためである。

⑥ 給水原価は、全国平均及び類似団体平均を上回っている。主な要因は、水源に乏しい地域特性から、水源開発に多額の投資を行ってきた水道用水供給事業体に支払う受水費が割高となっているためである。

⑦ 施設利用率は、全国平均及び類似団体平均を上回っており、施設が効率的に活用されている。

⑧ 有収率は、全国平均を下回っており、類似団体平均と同水準である。近年、管路の老朽化に伴い漏水件数が増加傾向であることから、漏水の早期発見・修繕及び漏水多発路線の計画的更新を実施している。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、全国平均及び類似団体平均を下回っている。主な要因は、施設の統廃合や基幹管路の更新など、多額の費用を要する更新を優先的に実施してきたことにより、資産全体の老朽化割合が低下したためである。

② 管路経年化率は、全国平均及び類似団体平均を上回っている。主な要因は、創設時に布設され法定耐用年数を経過した配水管が多いためである。水需要が減少傾向にあることから、過度な投資とならないよう重要給水施設配水管の耐震化や漏水多発路線の更新に重点を置き、優先的に実施している。

③ 管路更新率は、全国平均及び類似団体平均を下回っている。主な要因は、近年の物価高騰に伴う資材価格の上昇により更新事業費が増加し、更新財源が不足しているためである。今後も計画的な更新を継続するため、財源の確保策を検討する必要がある。

全体総括

九十九里地域では、良質で豊富な水源に乏しく、遠方の利根川に水源を求めていることから、水道用水供給事業体である九十九里地域水道企業団の水道料金は、県内の一部の地域と比較して割高となり、水道料金を押し上げる要因となっている。これを踏まえ、構成市町及び千葉県から補助金を受け、水道料金の抑制を図っている状況である。

一方で、人口減少に伴う水需要の縮小が進む中、老朽化した施設の更新需要が増大しているほか、近年の物価高騰や人件費の上昇により運営コストが増加し、経営を圧迫している。さらに、今後は水道料金値上げも見込まれていることから、経営状況を的確に把握しつつ、給水収益の確保など安定的な財源の確立に向けた方策を検討していく。